

# 会員卓話

望月 威男 会員



## 原発事故と福島県の現状

日本には原子力発電所が54あります。今日、新潟が止まりましたので、動いているのは、北海道の泊原発のみとなりました。今年の5月には全て停止することになります。

全てが停止しても、1割の節電で電力不足は起こりません。これが、日本の電力事情であることを考えなくてはなりません。

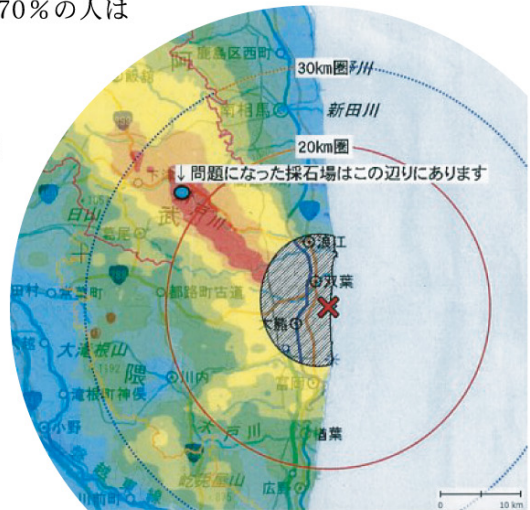
赤い所は、風向きが赤い北西の方向であったため、人が住めない、住んでいない状態です。赤い小さい円は半径20kmです。(静岡から富士まで40km)この中で働いている人は3,000人とも、3,500人とも言われています。その内2/3はもともと福島県内で原子力発電所で働いていた人たちです。

今回の震災での死者・行方不明者は、岩手県・宮城県・福島県で約20,000人で、その内10,000人が宮城県で、一番酷いのが石巻です。

### ◎関係する市町村は

- ・南相馬市 約71,500人 津波で福島県最多の640人死亡。南側の半分近くの人が避難した。
- ・浪江町 約21,000人 全人口が避難。役場は二本松市へ。
- ・双葉町 約7,000人 第一原発があり全人口が避難し役場は埼玉県の加須市へ。全国ばらばらとなる。
- ・大熊町 約11,000人 第一原発があり全人口避難。役場は会津若松市へ移転。
- ・富岡町 約15,700人 第二原発があり全人口避難。役場は郡山市のビックパレットへ移転。
- ・楢葉町 約7,700人 第二原発があり大部分が警戒区域の為、殆どが避難し役場は会津美里町へ。
- ・広野町 約5,300人 全域が緊急時避難準備区域と指定され、70%の人は隣のいわき市へ住む。
- ・飯館村 約6,600人 全村民避難
- ・葛尾村 約1,500人 全村民避難
- ・川内村 約3,000人 全村民が避難しているが、4月1日を目標に半分位戻す計画だ。役場は郡山市のビックパレットにある。

◎1時間あたり1マイクロシーベルトを1年間受け続けると  
8,760マイクロシーベルトとなる。  
→8.76ミリシーベルト  
◎自然界から1.4ミリシーベルト受けている



### 委員会報告

■新世代委員会/職場体験学習の報告 (川嶋会員) 表面に記載

### 確定出席報告 (前々回出席報告)

吉川委員長

月/日	確定出席率	総会員数	出席者合計 (含メイクアップ)
3/5	81.3%	45名	35名(メイクアップ1名を含む)
3/12	87.5%	45名	35名(メイクアップ1名を含む)

- ・総会員数45名 (出席義務会員30名+出席免除会員15名)
- ・出席者合計には出席免除会員、メイクアップ会員を含む  
～出席率向上へのご協力をお願い致します～